

市政の窓



11月29日、令和3年12月吉野川市議会定例会開会日、原井市長は令和3年度のこれまでの成果と今後の市政運営方針についてその所信を表明し、市民の皆さんや市議会に理解と協力を求めました。要旨は次のとおりです。

新型コロナウイルスワクチン接種の状況

これまでに満12歳以上の接種対象者の85%にあたる、約3万2千人の方に接種を受けていただきました。
今後は、満12歳を迎える方や転入した方などの接種機会を提供できる体制を維持しつつ、3回目の追加接種を開始するための体制準備を進めます。3回目の接種は、2回目を接種してから、原則8カ月以上経過した18歳以上の方が対象です。

コロナ禍における各種イベントの開催状況

毎年恒例の「鴨島大菊人形・四国菊花品評会」や、第2回目となる「美郷マーケット」は、新型コロナウイルス感染症の予防対策に十分留意した

上で、開催されています。「美郷梅酒まつり」や「高開の石積みライトアップ」は、昨年に引き続き中止となりましたが、令和4年2月以降に開催される「美郷梅の花まつり」などのイベントについては、今後実行委員会において、開催の有無を決定します。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した事業

夢紡ぐぶるさと便事業

本事業は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出や帰省の自粛などの影響を受けている、本市出身の県外に居住する学生をお送りするため、本市特産品をお送りする事業で、7月から8月にかけて申請の受け付けを行い、現在174名に特産品をお送りしているところです。

暮らし・福祉の満足度向上

山瀬地区モデル集積所移転に伴う規模拡大

山瀬地区モデル集積所にある「山瀬公民館敷地内へ移転し、同時に収納スペースも拡張することとしました。

移住定住・にぎわい創出の魅力度向上

吉野川市ふるさと大使の委嘱

本市のイメージアップや知名度の向上につなげることを目的に、「吉野川市ふるさと大使」1名を委嘱し、本大使の第1号として、川島町学出身で「リーゼント刑事」の愛称で親しまれる「秋山博康」(本号21ページ参照)を委嘱しました。

総務大臣賞の受賞

このたび、「特定非営利活動法人美郷宝さがし探検隊」が、過疎対策の先進的・モデルの事例としてふさわしい、地域の特性を活かした創意工夫ある優良事例として選定され、「総務大臣賞」を受賞しました。

事業者継続応援給付金事業

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、現在も多くの業種の方々に對して影響が出ている状況であることから、制度を拡大し、個人・法人とも、令和2年11月から令和3年10月までの、任意の連続する2か月間を選択し、その前年または前々年の同じ期間と比較して、事業収入が20%以上減少した事業者が、10万円を上限として支給することとしました。

コロナに負けるな！吉野川市子ども応援給付金事業

子育て世帯の生活を支援するため、令和3年7月31日時点で、市内に住民登録のある0歳から18歳までの児童と、令和3年12月末日までに出生する新生児を養育する保護者を対象に、本市独自の支援策として、子どもひとりにつき1万円の「吉野川市子ども応援給付金」を8月から支給しており、11月22日現在、2930世帯、5048人に支給しています。

本市の財政状況および令和4年度当初予算編成方針

財政危機。突破。に向けた13項目の取組方針を策定する

とともに、歳入・歳出面から、全庁を挙げて第4次行財政改革大綱に基づく取り組みを強化しました。
令和4年度当初予算編成は、一定の成果の見た本年(令和3年度)当初予算編成を基本的に継続し、令和5年度から施設建設が本格化する「新ごみ処理施設整備事業」という大型事業に向け力を蓄える、「未来につなぐ財政危機突破型予算編成」として、これを基本方針とし、現在、編成作業を進めています。

市有施設へのネーミングライツの導入

本事業の第1弾として、10月18日から11月30日までの間、「吉野川市民プラザ」と「吉野川市多目的グラウンド」両施設のネーミングライツ、パートナーの募集を行っています。
今後は、12月中旬に外部有識者を含めた選定委員会で審査し、パートナー企業や愛称名を決定し、令和4年4月から愛称を使用する予定としています。

企画提案型有料広告の導入

民間企業の発想やアイデア

により企画提案をいただき、市が保有する財産などを広告媒体として活用していただくものです。
広告掲載料は、企画提案の内容がよりよりますが、年間12万円以上、月額では1万円以上からとしており、掲載期間は最大3年間としています。

都市再生整備計画事業の進捗状況

都市再生整備計画事業については、鴨島駅周辺整備を中心に進めているところで、現在、駅前ロータリーと駅東側駐輪場の整備を施工中です。工事は、令和4年1月中旬の竣工を目指しています。
また、市民プラザ西側の徳島大正銀行跡地に整備中のポケットパークについては、先日着工したところで、令和4年3月下旬の竣工予定です。



ポケットパーク完成イメージ

議会だより

- ◇一般会計補正予算(第7号)
- ◇一般会計補正予算(第8号)
- ◇一般会計補正予算(第9号)
- ◇一般会計補正予算(第10号)
- ◇国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
- 指定管理者の指定

市有施設の指定管理者に指定する団体および指定期間などを決定しました。各施設の指定管理者は次のとおりです。

- ▼鴨島児童館/学校法人鴨島学園/令和4年4月1日から5年間
 - ▼美郷物産館/特定非営利活動法人美郷/令和4年4月1日から5年間
- 人事
◇教育委員会委員の任命について
任期満了に伴い再度委員に選任するため、議会に対して同意を求めたものです。
栗原奈麻美(くわはら・なおみ)氏18歳、鴨島町内原

連携協定の締結

日本郵政株式会社と包括連携協定を締結し、本協定による連携事業の第1弾として、「吉野川市夢紡ぐぶるさと便」の発送業務を担っていただくこととしており、締結式当日には、第一便の出發セレモニーを行いました。

子育て・教育の満足度向上

子育て支援センター「ちびっこプラザ」の外部委託の推進

子育て支援センター「ちびっこプラザ」は現在、市が事業主体となっていますが、充実した事業遂行のため、11月19日に、選定委員会による応募法人のプレゼンテーションとヒアリングを実施し、「公益財団法人・徳島県勤労者福祉ネットワーク」を委託事業者として決定しました。

山瀬小学校屋内運動場改築工事

新しい山瀬小学校屋内運動場が、11月30日に竣工を迎えました。
今後の予定は、2月末までに旧屋内運動場の解体工事をを行い、来年度には、駐車場などの外構整備工事を実施

成長する産業づくりの拡大

吉野川市プレミアム商品券事業の成果

市内の取扱店舗で使用していただいた金額は、2億9793万円、発行金額3億円に対する比率は99.3%となっており、消費喚起につながると考えられています。

また今回は、地元店舗限定券を発行しましたが、地元店舗での使用比率が54.9%と半数を超える結果となりました。

安心・安全なまちづくりの拡大

大規模自然災害発生時に迅速かつ的確に避難所・避難場所へ避難するための広告付き標識看板の設置

設置場所から一番近い指定避難所の名称、到達距離、方向、施設名称などを記載した標識看板を、周辺の民間事業者や団体の皆さんの協力を得ながら、現在順次設置を進めています。



市内各地に順次設置しています

持続可能な地域づくりと市役所の変革

11月10日現在、15社の協力の下、21カ所に標識看板の設置を行うことができました。
◆あいおいニッセイ同和損害保険株式会社との連携事業
本年6月に同社と締結した「地方創生に関する包括連携協定」に基づく第1弾の連携事業として、令和4年3月ごろに、最先端の通信技術である「テレマティクス技術」を活用した交通安全イベントを開催します(本号9ページ参照)。

◆新ごみ処理施設整備事業
令和7年7月の完成を目指し、現在準備を進めており、施設整備の基本となる「基本構想・基本計画」を本年3月に策定したところです。
完成予定時期まで、時間は残り約3年半半余りとなりますが、今後、造成工事を含め、施設整備には数年にわたることが考えられますので、引き続き滞滞なく準備を進めていきます。

